



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年10月31日

上場会社名 三菱化工機株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6331 URL <http://www.kakoki.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山中 菊雄
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 齋藤 雅彦 TEL 044-333-5354
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	17,603	△16.3	△1,632	—	△1,624	—	△3,496	—
25年3月期第2四半期	21,037	43.6	△845	—	△866	—	△769	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 △3,210百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △1,504百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△44.22	—
25年3月期第2四半期	△9.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	39,680	16,001	40.3	202.39
25年3月期	47,736	19,211	40.2	242.99

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 16,001百万円 25年3月期 19,211百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,700	△25.8	△1,850	—	△1,850	—	△3,700	—	△46.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	79,139,500株	25年3月期	79,139,500株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	76,932株	25年3月期	76,174株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	79,062,568株	25年3月期2Q	79,066,184株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日本銀行の経済対策及び金融政策の効果・期待感から円安傾向への流れや株価の上昇が進み、消費者マインドが上向いたことにより個人消費が増加し、後半にかけては企業の景況感の改善により、これまで慎重さが残っていた民間設備投資にも持ち直しの動きが見られました。しかし、一方では円安による輸入燃料・原材料価格の高騰、海外景気の下振れ懸念等もあり、景気は全体としては緩やかな回復基調で推移しました。

このような状況の下、当社は本年4月より、営業・技術一体による受注の確保、工事の工程管理の強化並びに設計効率の改善を目的として、従来の機能別本部制からプラント・環境・機械の各事業本部制に改組しました。当社グループは、新組織の下、重点課題に取り組むとともに、一部事業の見直し、業務効率化、諸経費の節減等をはかり、業績回復に努めてまいりました。

当社グループの当第2四半期連結累計期間における受注状況は、当社関連業界における設備投資が未だ力強さを欠く状況下、国内外向けプラントを中心とした大型案件の減少とこれに伴う厳しい受注競争があり、また期待していた案件の延期・逸注等もあり、低水準に留まりました。

売上高につきましては、既受注の大型工事の売上がほぼ前期で終了したことに加え、当第2四半期連結累計期間の受注高減少の影響により、17,603百万円と前年同四半期に比べ16.3%の減少となりました。損益面におきましては、売上高の減少による売上総利益の減少に加え、既受注の海外プラントの一部大型工事においてコスト改善が出来ず、工事採算の更なる悪化が発生したことにより、当第2四半期連結累計期間における営業損失は1,632百万円（前年同四半期は845百万円の損失）、経常損失は1,624百万円（前年同四半期は866百万円の損失）となりました。また、当四半期連結累計期間及び今後の業績動向を勘案し、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、繰延税金資産の一部を取崩して法人税等調整額に計上したため、四半期純損失は3,496百万円（前年同四半期は769百万円の損失）となりました。

なお、当社グループでは、売上高が上半期に比べ下半期に、また、第2四半期連結会計期間末及び連結会計年度末に偏る傾向があります。

セグメントの業績は次のとおりであります。

エンジニアリング事業については、売上高11,888百万円（前年同四半期比16.7%減少）、経常損失1,935百万円（前年同四半期は1,491百万円の損失）となりました。

単体機械事業については、売上高5,715百万円（前年同四半期比15.6%減少）、経常利益310百万円（前年同四半期比50.4%減少）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ8,056百万円減少の39,680百万円となりました。これは、仕掛品の増加507百万円等がありましたが、受取手形及び売掛金の減少5,489百万円、現金及び預金の減少1,971百万円、繰延税金資産（流動資産・固定資産の合計）の減少808百万円等の影響によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ4,845百万円減少の23,679百万円となりました。これは、繰延税金負債の増加1,148百万円等がありましたが、支払手形及び買掛金の減少3,995百万円、短期借入金の減少1,000百万円、前受金の減少629百万円等の影響によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ3,210百万円減少の16,001百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金の増加187百万円、為替換算調整勘定の増加98百万円等がありましたが、四半期純損失の計上による利益剰余金の減少3,496百万円等の影響によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、期初に保有していた資金を営業活動、固定資産の取得及び借入金の返済に使用した結果、1,971百万円の減少となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動に使用した資金は、917百万円となりました。これは、売上債権の減少(5,538百万円)、減価償却費の計上(364百万円)等により資金が増加いたしましたが、税金等調整前四半期純損失の計上(1,624百万円)、仕入債務の減少(4,072百万円)、前受金の減少(704百万円)、受注工事損失引当金の減少(325百万円)等により資金が減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、229百万円となりました。これは、主に固定資産の取得(237百万円)に資金を使用したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、1,006百万円となりました。これは、主に短期借入金の純減少額(1,000百万円)により資金が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の経済動向につきましては、景気回復の動きが確かなものとなることが期待されますが、円安傾向の流れと株価の上昇にはすでに一服感があり、また米国の財政問題や世界景気の減速懸念、さらには来春に予定されている消費税率引上げに伴う影響の先行き不透明感もあり、予断を許さない状況が続くものと見込まれます。

当社は、業績回復にとり急務であります国内外のプラント工事のコスト悪化の未然防止及び工事採算の改善のための諸施策を引き続き実施するとともに、エンジニアリング事業全般において、重点分野及び案件の一部見直しを含め、採算をより重要視した事業の再構築を強力に進めてまいります。

通期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績及び上記の経済動向を鑑み、平成25年5月15日に公表した平成25年3月期の連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日(平成25年10月31日)公表いたしました「繰延税金資産の取崩し、第2四半期連結累計期間業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,828	7,857
受取手形及び売掛金	18,379	12,890
製品	749	673
仕掛品	1,595	2,102
材料貯蔵品	1,021	884
その他	1,144	575
貸倒引当金	△16	△4
流動資産合計	32,703	24,980
固定資産		
有形固定資産	5,571	5,452
無形固定資産	474	403
投資その他の資産		
投資有価証券	8,368	8,649
その他	660	230
貸倒引当金	△41	△35
投資その他の資産合計	8,987	8,844
固定資産合計	15,033	14,700
資産合計	47,736	39,680
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,010	6,014
短期借入金	8,000	7,000
未払法人税等	29	22
前受金	1,458	829
賞与引当金	427	507
完成工事補償引当金	128	177
受注工事損失引当金	477	198
その他	812	592
流動負債合計	21,343	15,341
固定負債		
長期借入金	1,727	1,727
退職給付引当金	5,050	5,077
役員退職慰労引当金	248	226
P C B 処理引当金	27	26
その他	127	1,280
固定負債合計	7,181	8,337
負債合計	28,524	23,679

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,956	3,956
資本剰余金	4,202	4,202
利益剰余金	8,815	5,319
自己株式	△17	△17
株主資本合計	16,958	13,461
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,475	2,663
為替換算調整勘定	△221	△123
その他の包括利益累計額合計	2,253	2,539
少数株主持分	—	—
純資産合計	19,211	16,001
負債純資産合計	47,736	39,680

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	21,037	17,603
売上原価	19,206	16,510
売上総利益	1,831	1,092
販売費及び一般管理費	2,677	2,724
営業損失(△)	△845	△1,632
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	109	97
その他	32	35
営業外収益合計	144	136
営業外費用		
支払利息	35	46
支払手数料	30	26
為替差損	61	39
その他	37	16
営業外費用合計	164	128
経常損失(△)	△866	△1,624
税金等調整前四半期純損失(△)	△866	△1,624
法人税、住民税及び事業税	12	10
法人税等調整額	△29	1,861
法人税等合計	△17	1,871
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△849	△3,496
少数株主損失(△)	△79	—
四半期純損失(△)	△769	△3,496

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△849	△3,496
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△646	187
為替換算調整勘定	△8	98
その他の包括利益合計	△655	285
四半期包括利益	△1,504	△3,210
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,420	△3,210
少数株主に係る四半期包括利益	△83	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△866	△1,624
減価償却費	351	364
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	△17
賞与引当金の増減額(△は減少)	7	79
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△15	—
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	13	49
受注工事損失引当金の増減額(△は減少)	101	△325
工場建替費用引当金の増減額(△は減少)	△86	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△91	26
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4	△22
P C B処理引当金の増減額(△は減少)	△6	△0
受取利息及び受取配当金	△111	△100
支払利息	35	46
売上債権の増減額(△は増加)	792	5,538
たな卸資産の増減額(△は増加)	△539	△293
前渡金の増減額(△は増加)	347	191
仕入債務の増減額(△は減少)	△871	△4,072
前受金の増減額(△は減少)	425	△704
その他	△24	△89
小計	△532	△954
利息及び配当金の受取額	111	100
利息の支払額	△35	△46
法人税等の支払額	△6	△17
営業活動によるキャッシュ・フロー	△463	△917
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△1,213	△237
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
長期貸付けによる支出	—	△2
長期貸付金の回収による収入	1	1
その他	17	12
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,197	△229
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,000	△1,000
リース債務の返済による支出	△8	△6
長期借入れによる収入	1,000	—
長期借入金の返済による支出	△2,000	—
配当金の支払額	△395	—
自己株式の取得による支出	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	596	△1,006
現金及び現金同等物に係る換算差額	△99	182
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,164	△1,971
現金及び現金同等物の期首残高	8,458	9,827
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	481	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,775	7,856

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	エンジニアリング事業	単体機械事業	
売上高			
(1) 外部顧客に対する売上高	14,267	6,770	21,037
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	14,267	6,770	21,037
セグメント利益(△は損失) (経常利益(△は損失))	△1,491	625	△866

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	エンジニアリング事業	単体機械事業	
売上高			
(1) 外部顧客に対する売上高	11,888	5,715	17,603
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	11,888	5,715	17,603
セグメント利益(△は損失) (経常利益(△は損失))	△1,935	310	△1,624